

語順指導を用いた英作文指導がもたらす意識の変容

ー英作文の不安感軽減と伝わる英語を目指した授業づくりー

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（英語）

柴垣 雅斗

本実践研究では中学生を対象に、1文レベルで正確な英文を書かせる語順指導を行うことで、英文を書くことに対する彼らの不安感や英文を書くことへの意識がどのような変容を見せるのかを調べた。授業実践では、筆者が作成した「語順プリント」を用いて1つの単元を行い、その意識の変容を全体への選択式・記述式アンケート、抽出生徒への聞き取りで見とった。成果と課題については、以下の通りであった。

【成果】

- ・英作文は経験を積み書けるようになるかもしれないという前向きな意識に変わった（選択式アンケートの分析結果から）
- ・英語学習が苦手な生徒が「自分で英文を書けるようになった」という達成感を味わうようになった（抽出生徒への聞き取りから）

【課題】

- ・生徒は語順の役割を覚えることが負担に感じる（記述式アンケートの結果から）
- ・語順の記憶定着のために継続的な指導が必要である（選択式アンケートの分析結果から）